



日本の「もったいない」から 世界の「MOTTAINAI」へ

写真：毎日新聞社

まだ使えそうなものが捨てられているのを見て、もったいないと思ったことはありませんか？ 捨てた人にとってはごみでも、他の人にとっては価値のあるものかもしれません。日本には昔からものを使い切る"もったいない"の心があります。



2010年2月に来日したマータイさん。大阪関西国際空港で

"もったいない"が" MOTTAINAI "として世界的に広がったのは、環境分野で初めてノーベル平和賞を受賞したケニア出身のワンガリ・マータイさんが日本を訪問した際、"もったいない"が環境問題を考え、解決していくうえで大変重要な概念であることに感銘し、世界に広めたことによります。

また、"もったいない"には自然やものに対する敬意、愛などの意思が込められています。リデュース(減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再資源化)のスリーアール(3R)を表す言葉であることから、そのまま" MOTTAINAI "と表記され、世界共通の言葉となりました。

わたしたちは、先人の知恵に学び、環境にやさしいライフスタイルを心掛けることや、環境と経済がうまくバランスを保ちながら発展する、持続可能な循環型社会を創ることが大切です。素晴らしい言葉、もったいない(MOTTAINAI)を日本から世界に広めましょう。